

Q 来年度からの「農地・水・環境保全向上対策（※）」は、農地等の生産基盤を地域の協働で保



本館 憲一 議員 (花巻クラブ)

全するということであるが、地方自治体にも国と同額の負担を求めらるものである。この対策への市の対応について伺う。

A (産業部長) 採択地区に對し、円滑な事業実施に向けて適切な対応に努める。

この制度への加入については、市内155農家組合中98の組合が希望しており、その面積は、合計で約8,596畧となつて

# 農地・水・環境保全向上対策 円滑な事業実施に向けて努力



大迫地域における交通手段の確保についての要望も出された内川目地区での「まちづくり市民懇談会」

Q 平成18年中に21カ所で開催された「まちづくり市民懇談会」における市長の所感を伺う。



藤井 幸介 議員 (無党派)

A (市長) 市民の市政への参画、行政との協働のまちづくりの第一歩として、新市への期待と熱意を感じた。重要課題としては、大迫地域から花巻

「いじめ問題」への対応が全国的に報道されているが、本市の小中学校における実態と学校の対応に

# 市民懇談会における市長の所感 新市への期待と熱意を感じた

A (教育長) 11月上旬に市内小中学校を対象に調査し、いじめの前兆及び軽微なトラブルも含め、小学校では19校、中学校では10校のいじめがあつたとの報告を受けている。学校の対応としては、学級担任等が生徒指導主任や教頭・校長への報告を行い、関係教職員で指導体制を組み、正確な事実把握の上で、必要な対処方針を検討して指導を行っている。



農地の保全是喫緊の課題です

※「農地・水・環境保全向上対策」は地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域ぐるみの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみの先進的な営農活動を、一体的かつ総合的に支援する対策。



利便性の向上が求められている市役所本庁舎の駐車場

Q 聴覚や言葉に障害がある子どもたちの早期発見、指導体制づくりは喫緊の課題である。言葉の



高橋 浩 議員 (新風クラブ)

A (教育長、保健福祉部長) 本年度、言葉に障害を持ち指導が必要と判断された市内の児童は、231人となつており、発音異常等の機能的訓練を目的と

市庁舎駐車場の整備 現駐車場は手狭で市民の利用に不便を来して

A (総務部長) 本庁舎北側は地盤がもろく、経費の工面と立地条件に課題がある。簡便な方法があれば今後検討していくが、当面は、現状のスペースを効率的に使いながら、生涯学習都市会館の駐車場も利用し、不便のないよう対応していく。

# 言葉をはぐくむ教育の指導体制 「幼児ことばの教室」を開設予定

教育の充実、幼児教室の設置、言語検査などの早期専門教育が必要であると考えるがいかがか。

する「幼児ことばの教室」を来年度から開設する方向で検討している。言語検査については、医師や発達相談員等と連携しながら早期発見に努める。

Q 市役所の土日開庁について、本庁及び各総合支所の利用実績と今後の見直しの方向性を伺う。



若柳 良明 議員 (平和環境市民クラブ)

A (総務部長) 土日開庁を開始した7月から10月までの期間の証明書類の発行等の件数に電話での問い合わせ等総合的な利用を含めた合計の件数は、一日当たりの平均利用件数で、本庁が109件、大迫総合支所が16件、石鳥谷総合支所が8件、東

和総合支所が4件となっている。土日開庁は、対応業務に制限があるものの一定のサービス向上につながっていると考へているが、今後は、利用状況の推移を見極めながら、市民のニーズに対応した総合的な見直しに努める。

Q 市内26カ所に設置予定の小さな市役所について、その設置基準と市民の声の把握について伺う。

A (市長) 拠点施設の設置基準については、地区公民館、小学校単位を基本とし、各地区の状況を考慮するとともに、総合支所や地区の代表の方々の意見を伺いながら、26カ所のエリア設定をしたところである。



昨年7月から開始された市役所の土日開庁

# 土日開庁の利用実績と見直し 利用状況を見極め見直しに努力

# 小さな市役所の基準